

製品名: NTF2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14927**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	15kDa

抗原情報

遺伝子名	NUTF2
別名	NUTF2; NTF2; Nuclear transport factor 2; NTF-2; Placental protein 15; PP15
遺伝子 ID	10204.0
SwissProt ID	P61970
免疫原	抗血清はヒト NUTF2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 67-116

背景

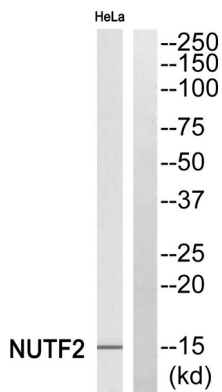
この遺伝子は、核へのタンパク質輸送を促進する細胞質因子をコードしています。コードされているタンパク質は、多くの細胞プロセスに関与する小さな Ras 様 GTPase である Ran の核内輸送に必須です。このタンパク質は、核膜孔複合体糖タンパク質 p62 と相

相互作用します。[RefSeq 提供、2016年4月],機能: 核へのタンパク質輸送を促進する。核膜孔 p62 および Ran と相互作用する。核膜への核輸入リガンドが核膜に最初にドッキングした後、核タンパク質輸入の比較的後期段階で作用する。核輸入中に核膜孔複合体に集合する細胞質因子の多成分系の一部である可能性がある。、類似性: 1つの NTF2 ドメインを含む。、サブユニット: ホモ二量体。、

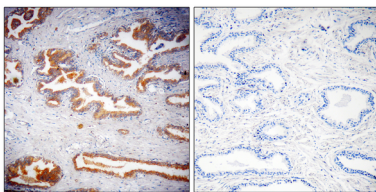
研究分野

シグナル伝達、タンパク質輸送、核の輸入・輸出

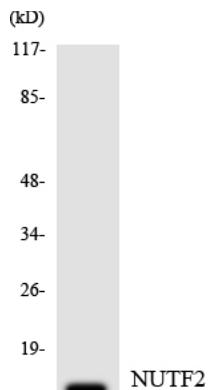
画像データ



NUTF2 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは NUTF2 ペプチドでブロッキングされている。

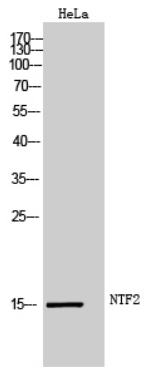


NUTF2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト前立腺の免疫組織化学染色。右レーンは NUTF2 ペプチドでブロッキングされている。



NUTF2 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。

NTF2 ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析



NTF2 ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析

